国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料 配　付　日	令和2年12月10日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ

旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図の変更

～旭川放水路事業の完成等により、約9km^{2}の浸水が解消～

国土交通省中国地方整備局が平成29年4月19日に定めた旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図※について、水防法第14条第4項に基づき、洪水浸水想定区域を変更・公表すると共に、関係市町へ通知します。

この度、令和元年6月の旭川放水路事業の完成等を反映し、想定最大規模降雨※及び計画規模降雨※による洪水浸水想定区域図を変更しました。旭川放水路事業の完成等により、計画規模降雨において、約9km^{2}の浸水が解消されました。

洪水浸水想定区域の指定の変更に係る公表資料は、下記の場所及び岡山河川事務所のホームページで閲覧することができます。

1. 閲覧場所
   ・中国地方整備局　河川部　水災害対策センター
     所在地：広島県広島市中区上八丁堀 6-30
   ・中国地方整備局　岡山河川事務所　調査設計課
     所在地：岡山県岡山市北区鹿田町 2-4-36

2. ホームページ
   旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図
   URL：http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/bousai/hanran sim/sim/index.html

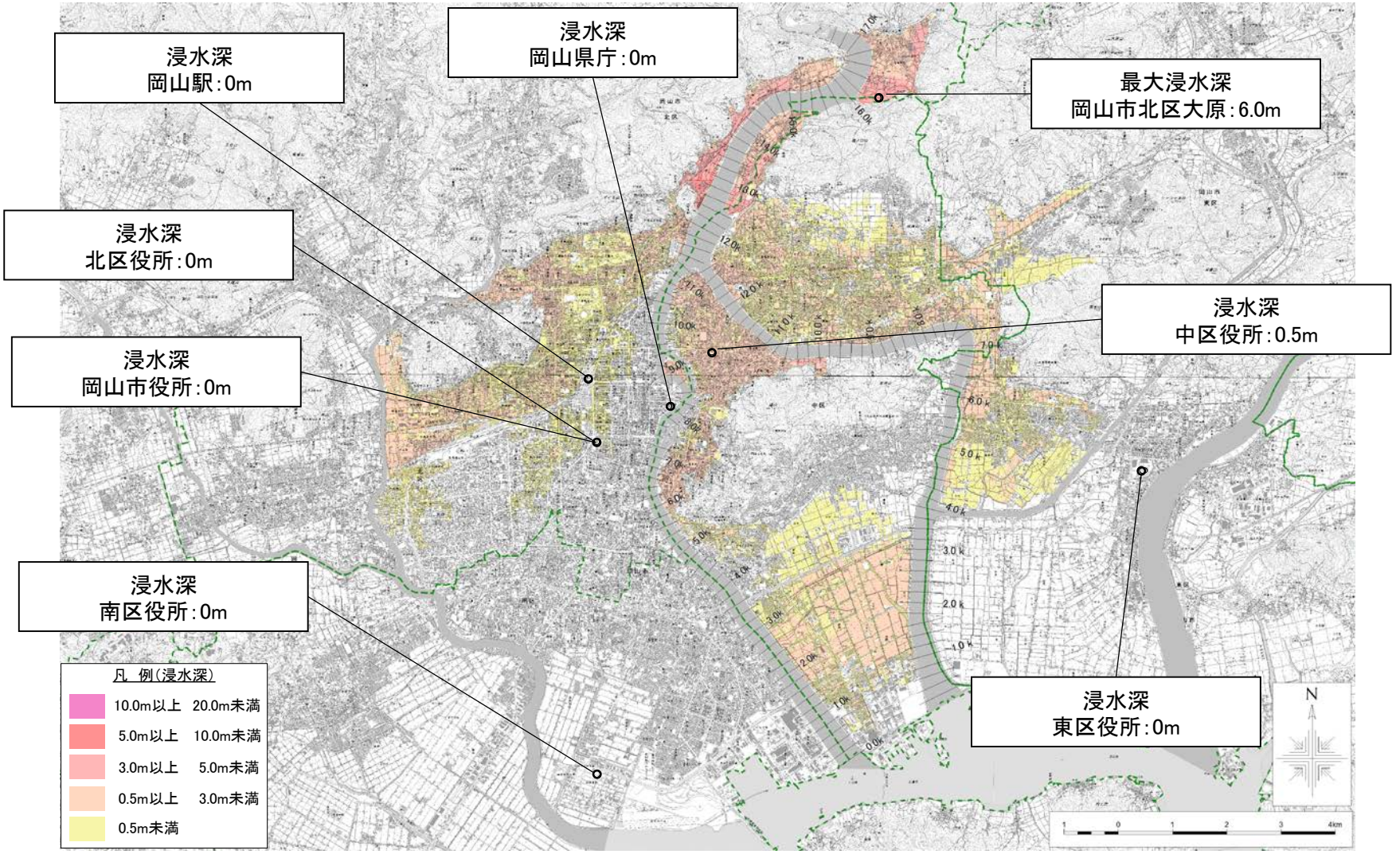
※洪水浸水想定区域とは、水防法第14条第1項の規定により、対象となる河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域のこと。
※想定最大規模降雨とは、想定し得る最大規模の降雨（計画規模を上回るもの）。
※計画規模降雨とは、基本高水（洪水防御に関する計画の基本となる洪水）の設定の前提となる降雨。

【問い合わせ先】
国土交通省　中国地方整備局　岡山河川事務所
副所長（調査）　松　本　　倫　明　　☎（086）－223－5101（代表）
調査設計課長　　井　上　　剛　介　　☎（086）－223－5187（調査設計課）

【参考】今回公表の洪水浸水想定区域図（計画規模）

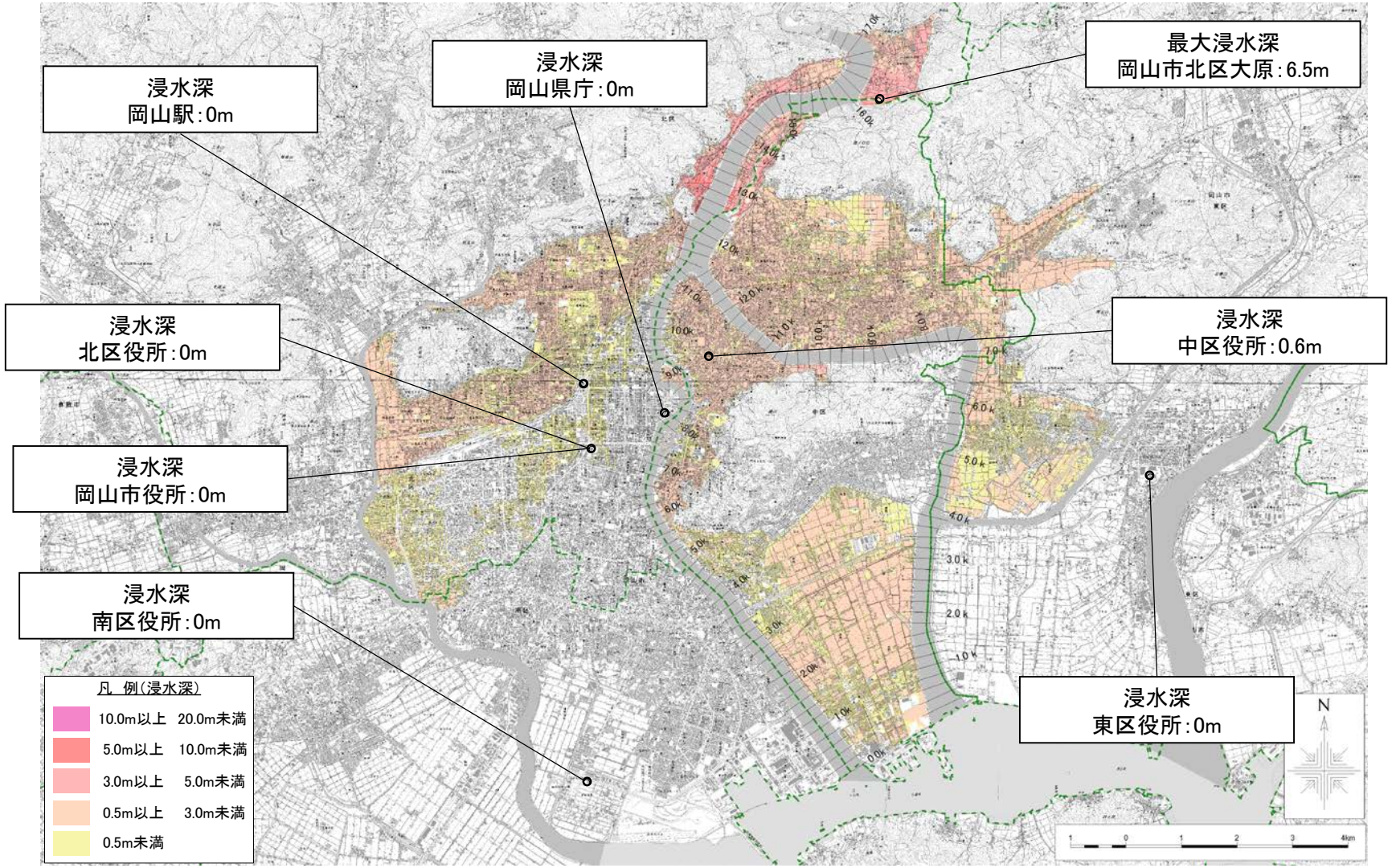
■ 計画規模の洪水浸水想定区域は、旭川放水路の完成等により、平成29年4月公表版と比べて全体的に浸水範囲や浸水深が減少しており、浸水が解消される面積は約9km²。

＜今回公表　旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図（計画規模）（総括版）＞



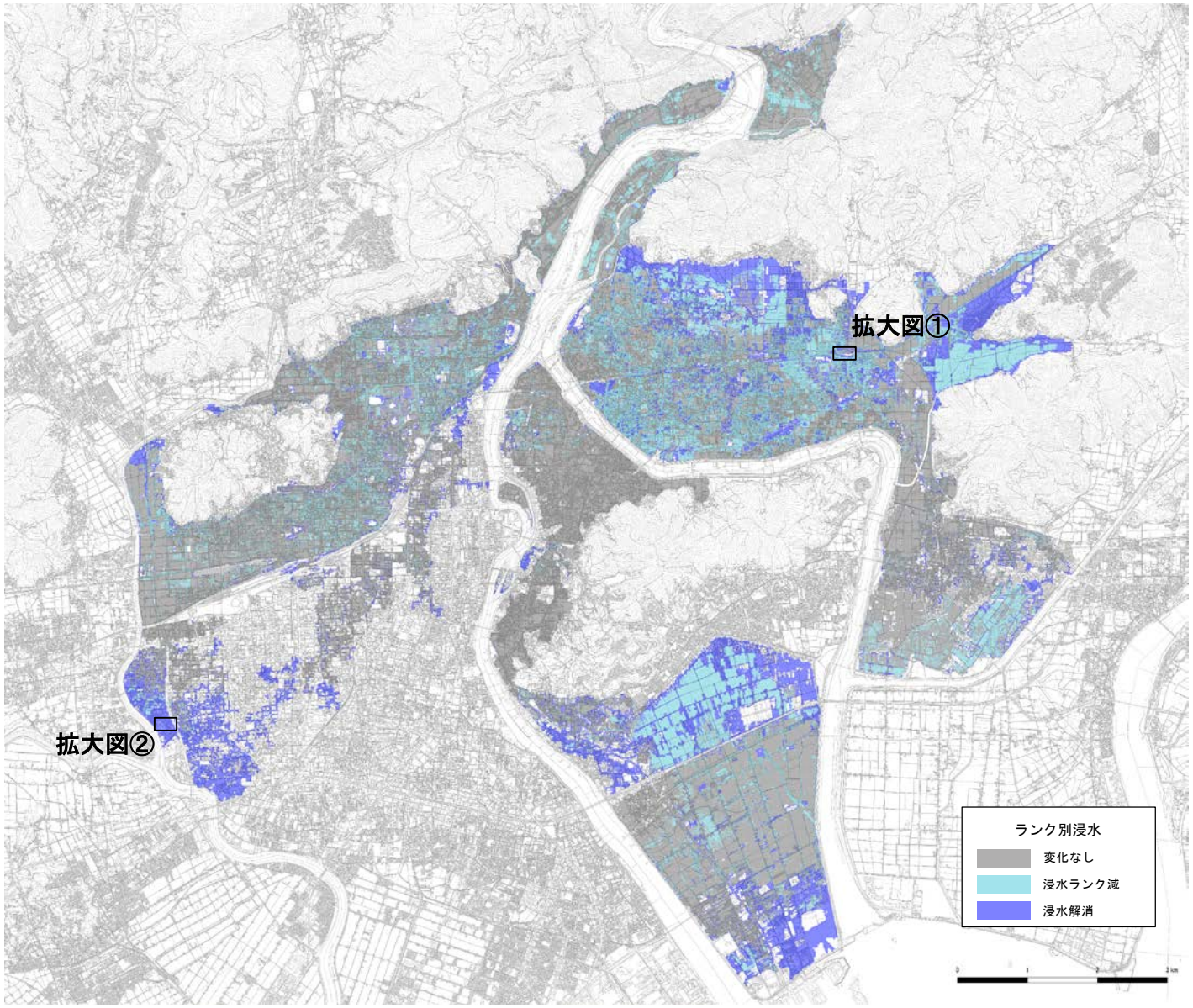
【参考】平成29年４月公表の洪水浸水想定区域図（計画規模）

＜平成29年4月公表　旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図（計画規模）（総括版）＞



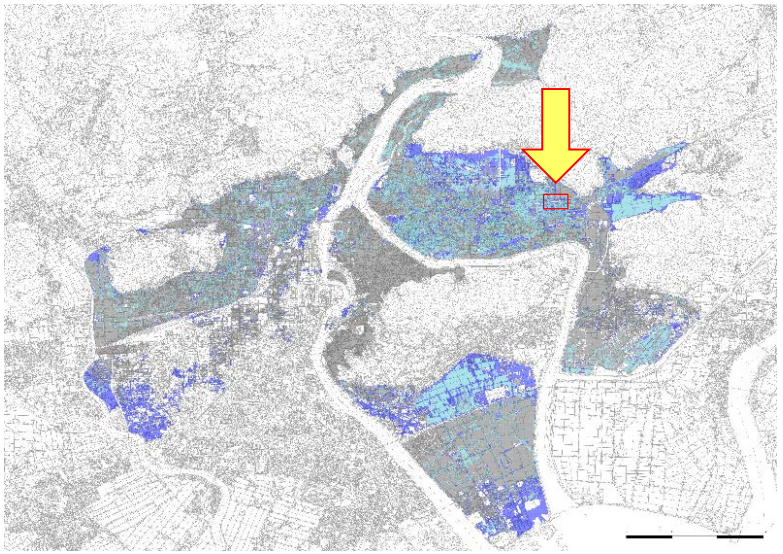
【参考】洪水浸水想定区域図（計画規模）変更前後の比較

■ 計画規模の洪水浸水想定区域は、旭川放水路の完成等により、平成29年4月公表版と比べて全体的に浸水範囲や浸水深が減少しており、浸水が解消された面積は約9km^2。

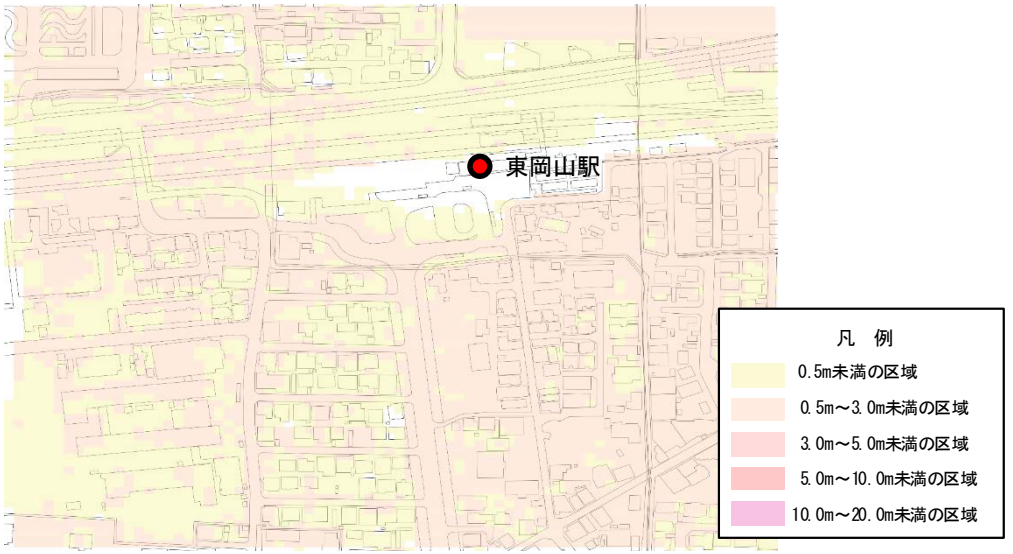


【参考】洪水浸水想定区域図（計画規模）変更前後の比較［東岡山駅付近］

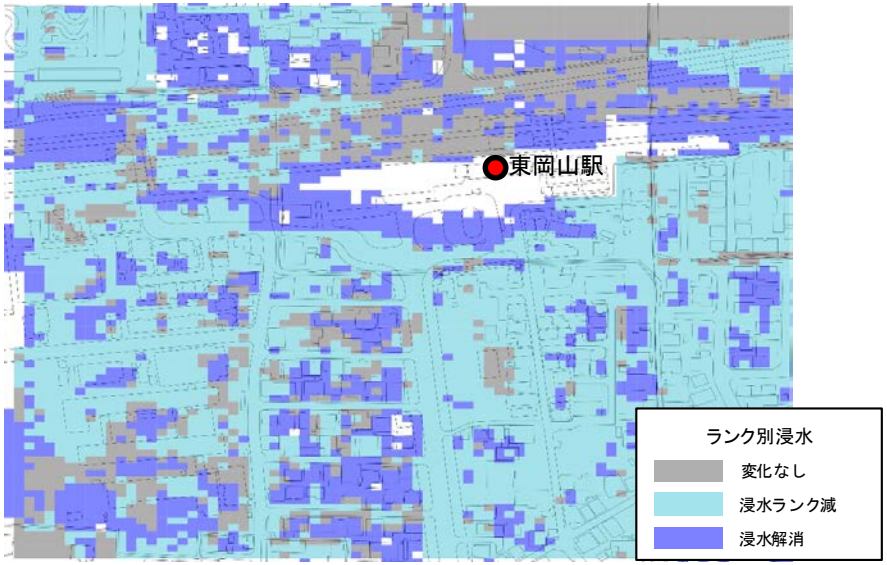
■位置図



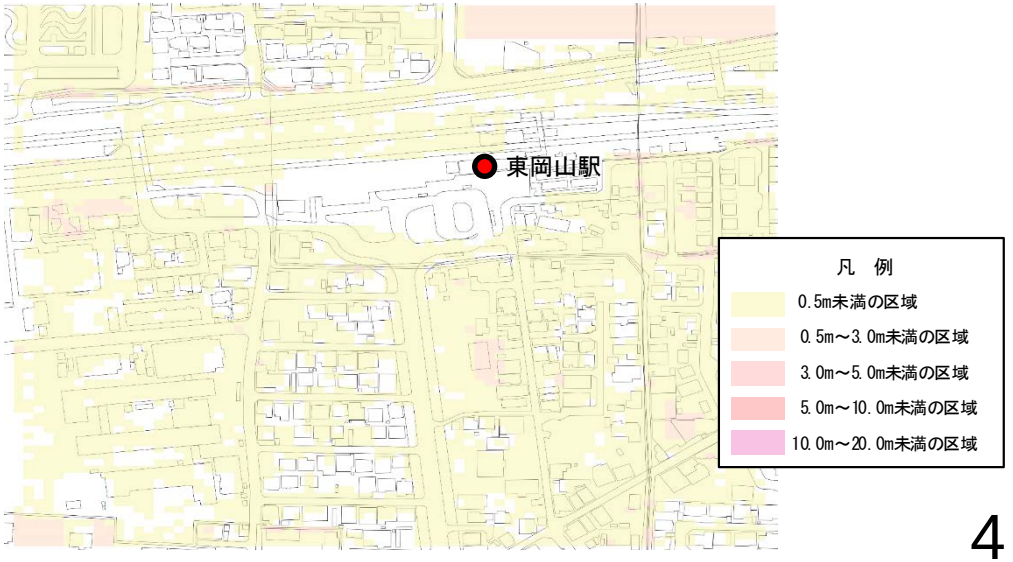
■変更前　※平成29年4月19日公表　洪水浸水想定区域図（計画規模）



■変更前後の比較　※想定される浸水深のランク変化

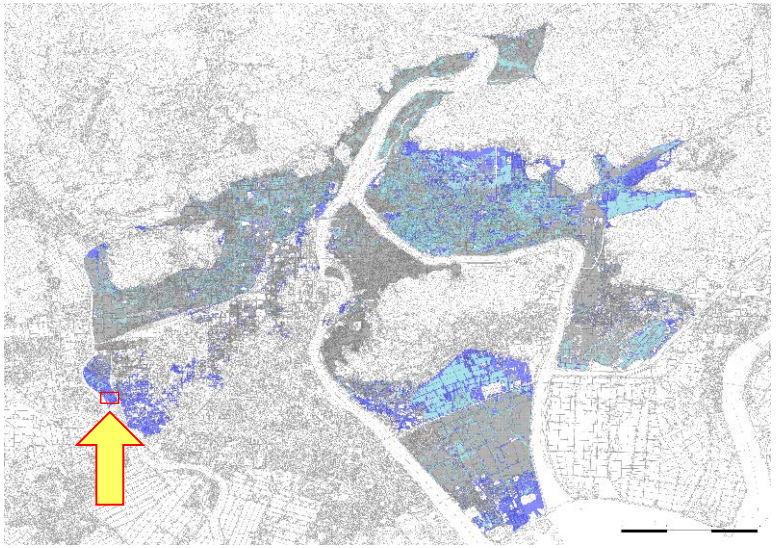


■変更後　※今回公表　洪水浸水想定区域図（計画規模）

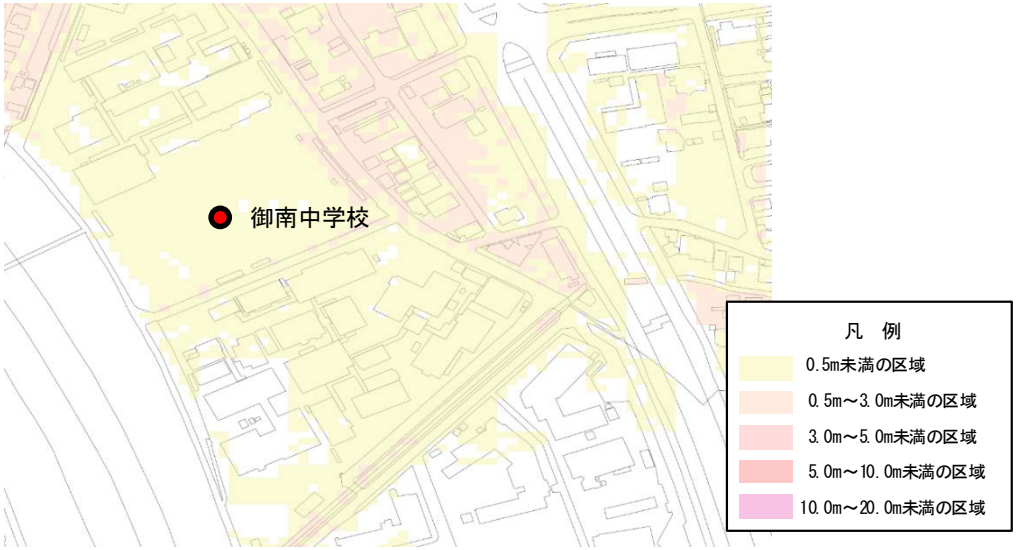


【参考】洪水浸水想定区域図（計画規模）変更前後の比較［御南中学校付近］

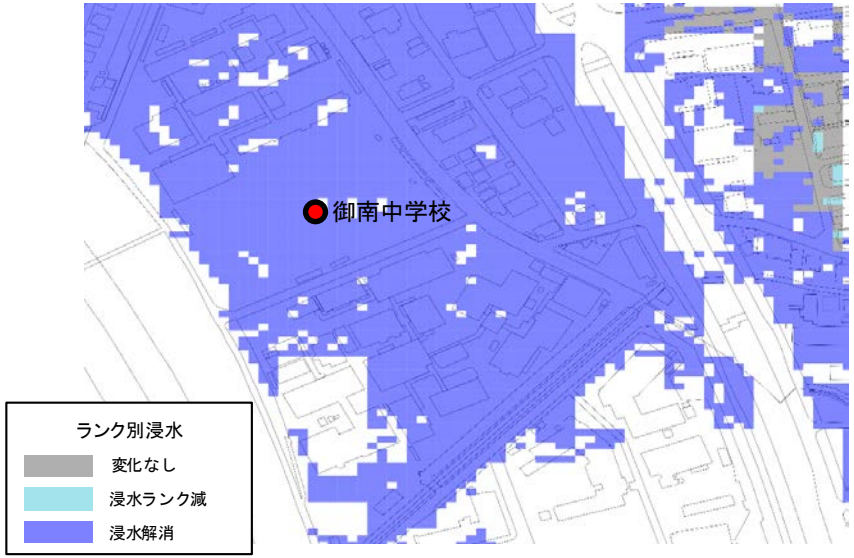
■位置図



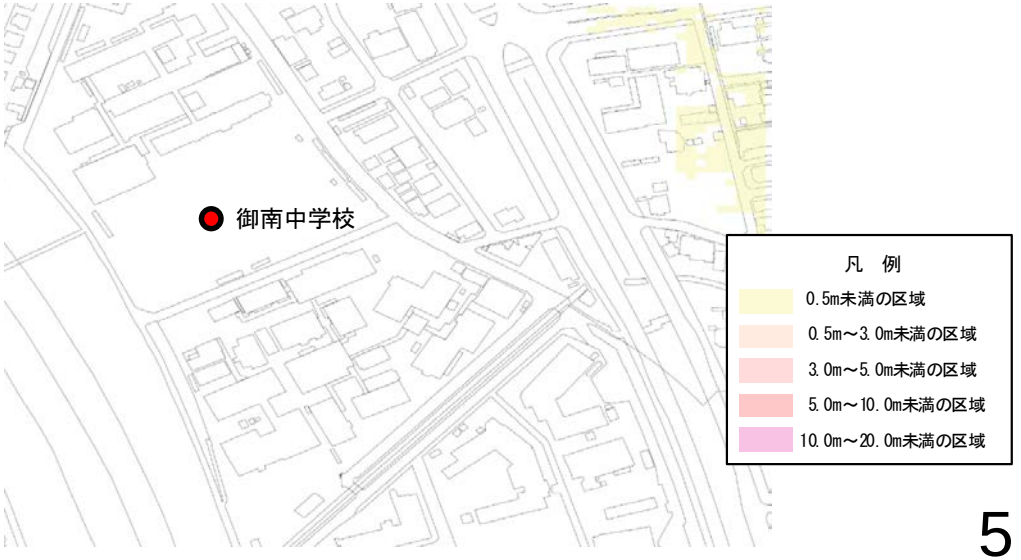
■変更前　※平成29年4月19日公表　洪水浸水想定区域図（計画規模）



■変更前後の比較　※想定される浸水深のランク変化



■変更後　※今回公表　洪水浸水想定区域図（計画規模）

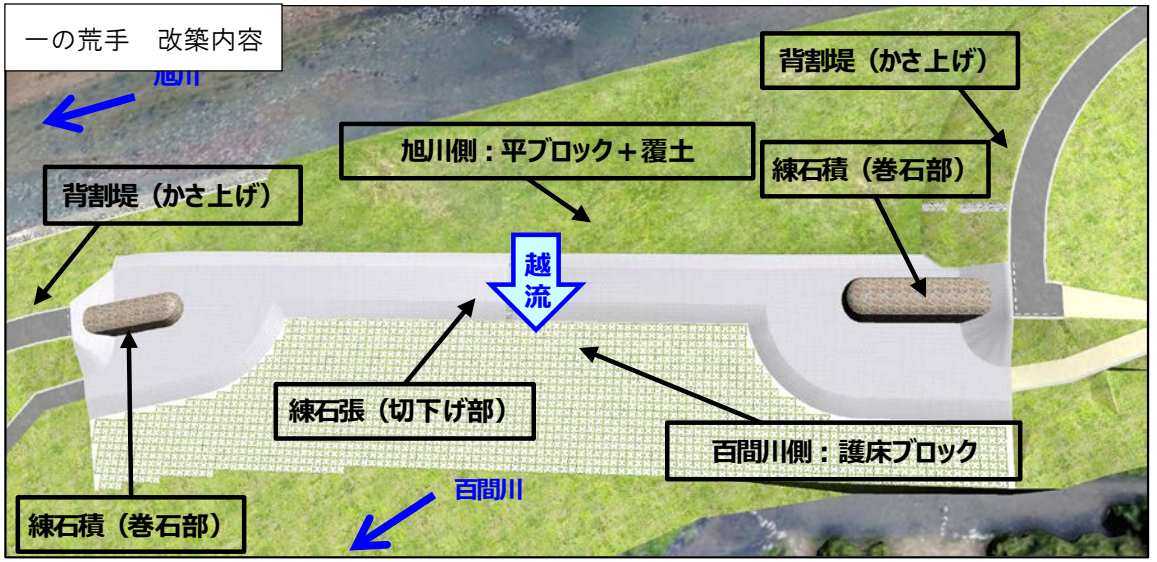


【参考】旭川放水路事業（旭川・百間川分流部改築）について

- 洪水時に旭川・百間川の適切な分流を行うために、分流部改築を実施。
- 具体的には、一の荒手改築、二の荒手改築、背割堤整備、根固め工、護岸改築などを実施。

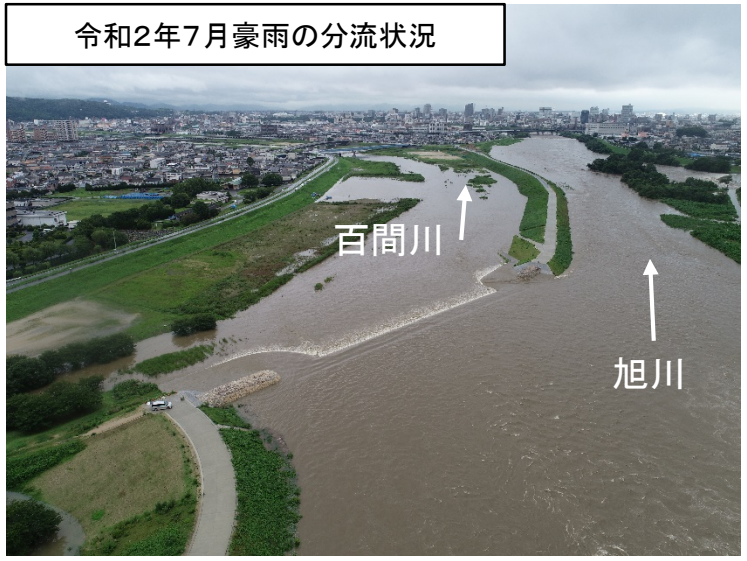
分流部改築

一の荒手　改築内容



平常時の分流部

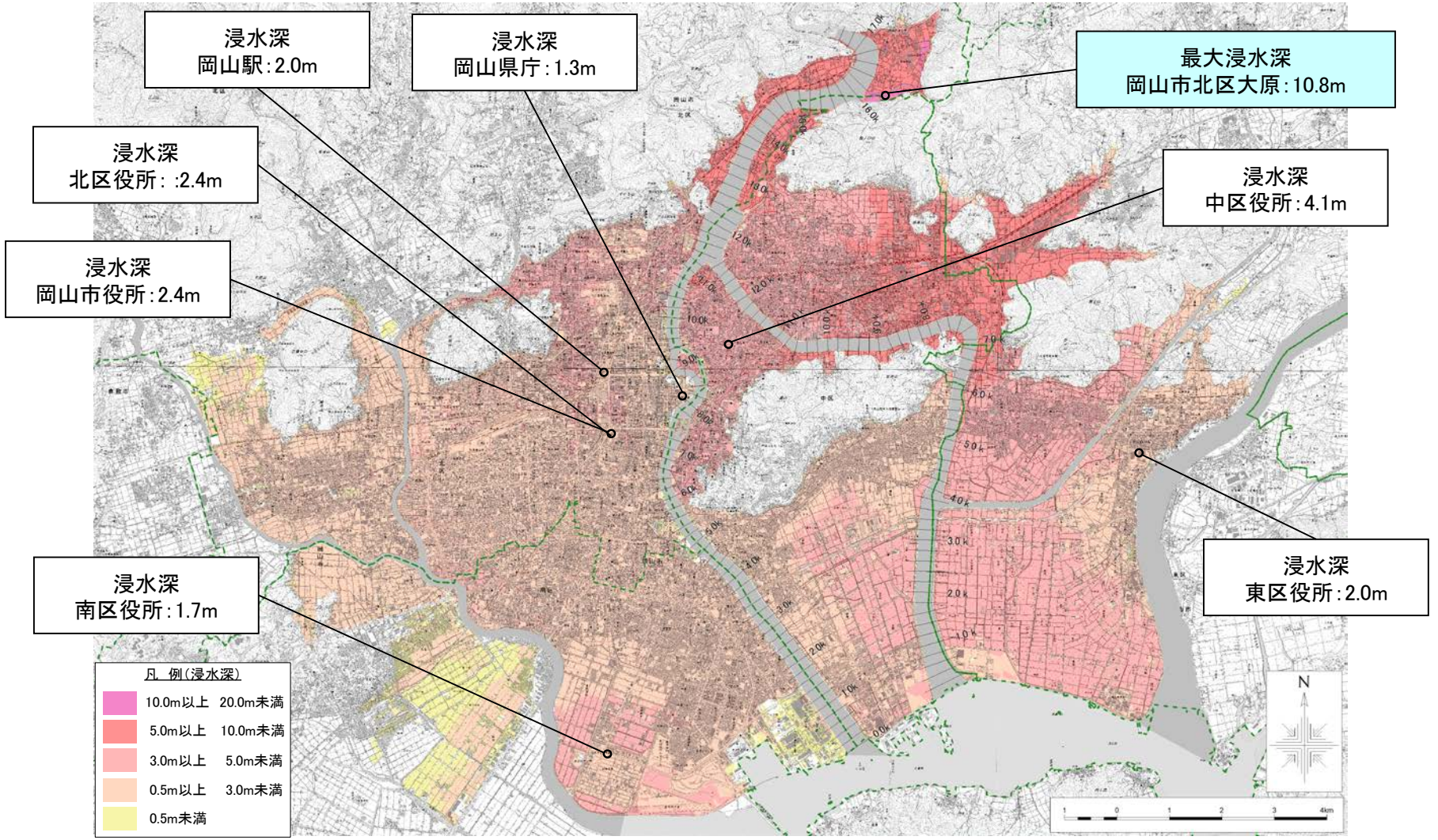
令和2年7月豪雨の分流状況

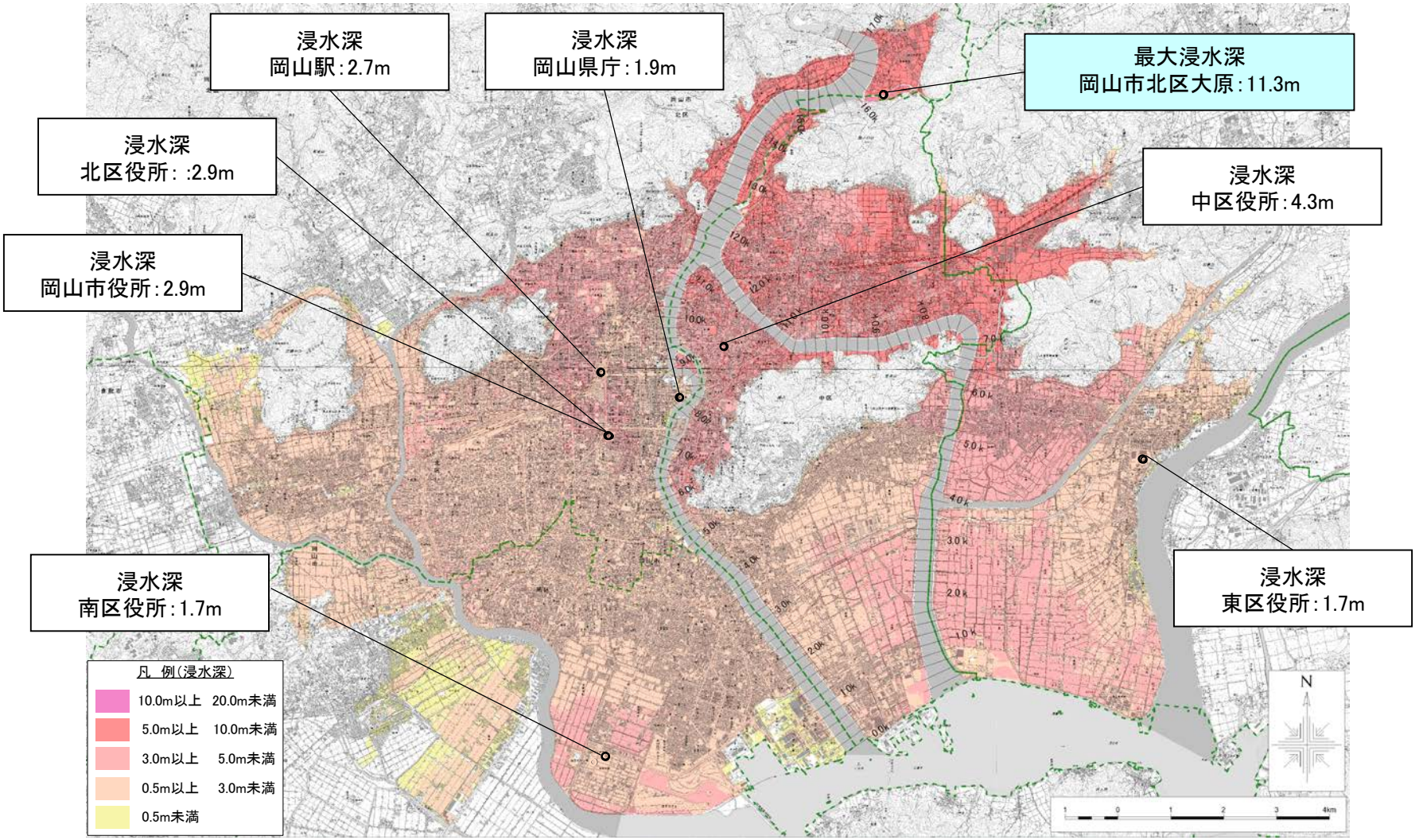


【参考】今回公表の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

- 前回公表以降の河川整備により、旭川・百間川上流部の浸水深に多少減少傾向が見られる。
- 浸水深が最大となるのは、前回と今回ともに「岡山市北区大原」であり、前回は11.3m、今回は10.8m。

＜今回公表　旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）（総括版）＞



【参考】平成29年４月公表の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

＜平成29年4月公表　旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）（総括版）＞